

AgileWorks

HULFT Square連携用Bricklet仕様書

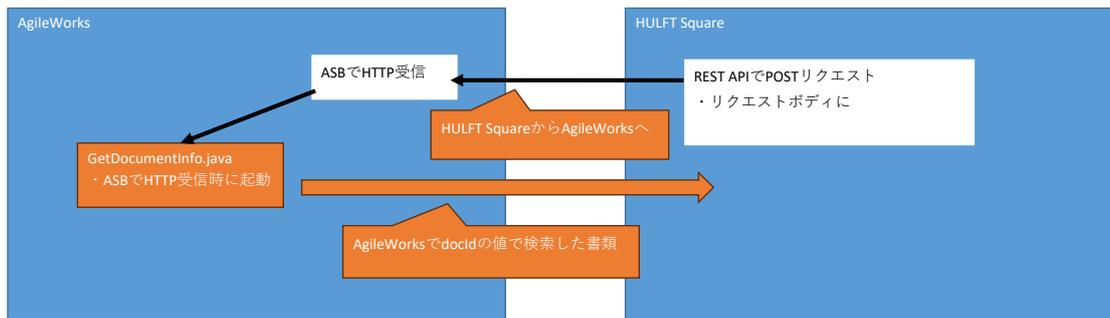
Brickletプログラム一覧・概要

Brickletプログラム

・ GetDocumentInfo.java

HTTPリクエストを受けてAgileWorks内の書類を検索し、その書類に登録されている件名項目をレスポンスとして返すBrickletプログラム

- ・ リクエストボディでdocId(AgileWorks上での書類ID)を受信して書類を検索
- ・ 検索で引き当てた書類の件名項目1~20をレスポンスとしてJSON形式で送信



Bricklet「GetDocumentInfo」詳細設計

Bricklet処理概要

- HTTPリクエストを受けてAgileWorks内の書類を検索し、その書類に登録されている件名項目をレスポンスとして返すBrickletプログラム
- ・リクエストボディでdocId(AgileWorks上での書類ID)を受信して書類を検索
 - ・検索で引き当てた書類の件名項目1~20をレスポンスとしてJSON形式で送信

変数

docId	<AgileWorksのdocId> ※HTTPのPOSTリクエストのボディから受信
-------	---

Bricklet処理詳細

- AgileWorksのASBでのHTTP受信をトリガーに本プログラムを起動
受信したHTTPリクエストのボディから「docId」の値を受け取り、AgileWorks内部の書類を検索
検索された書類の件名項目の1行目~20行目をJSON形式でHTTPレスポンスとして返信

ログ仕様

ログメッセージ	ログメッセージ	ログ発生タイミング
Info	"Start Search docId:" <HTTPリクエストで受信したdocId>	AgileWorksを検索するdocIdの値を出力
Info	Search Succeed	docIdの値でAgileWorks内に書類が存在したときに出力
Error	Search Error	docIdの値でAgileWorks内に書類が存在しないときに出力
Error	<格納文字列をそのまま出力>	未知のエラーのときに出力

HTTPリクエスト/レスポンス仕様

- 本プログラムはAgileWorksのASBでHTTPエンドポイントとして機能する
リクエストとレスポンスの形式は下記の通り

リクエスト仕様

リクエストURL	AgileWorksのASBで指定	
メソッド	POST	
ヘッダ	なし	
クエリパラメータ	なし	
リクエストボディサンプル	{ "docId": string }	
リクエストボディ項目詳細	docId	AgileWorks上の書類ID
文字コード	utf-8	

レスポンス仕様

MIMEタイプ	application/json	
レスポンスボディサンプル	{ "docListName9":"","docListName13":"","docListName12":"","docListName11":"","docListName10":"","docListName17" :","docListName16":"","docListName15":"","docListName14":"","docListName1":"","00000036","docListName2":"2023- 08- 25","docListName3":"XXYY契約","docListName19":"","docListName4":"","xx","docListName18":"","docListName5":"","yy","d ocListName6":"","docListName7":"","docListName8":"","docListName20":"" }	AgileWorksから検索した書類の 件名項目を出力
文字コード	utf-8	